

2005年5月25日

住友化学株式会社

高分子有機 EL 材料事業での合弁会社設立について

住友化学は、英国のケンブリッジ・ディスプレイ・テクノロジー社（CDT）と、高分子有機 EL 材料の開発、生産および販売を行う合弁会社を両社折半出資で設立するための覚書を締結いたしました。

新合弁会社は、両親会社から既存の高分子有機 EL 材料に関する技術の供与を受け、これを独占的に使用することになります。また、先般、当社は米国ダウ・ケミカル社から高分子有機 EL 用材料「LUMATION」事業を買収いたしました。が、同事業に関する技術についても合弁会社に提供いたします。

新会社は、こうして得られる高分子有機 EL 材料の開発に関する広範な知的財産を活用して、フルオレンポリマーをはじめとする既存材料の一層の高性能化を図るとともに、 dendrimer を利用した次世代の高効率燐光材料などの開発に取り組んでまいります。

高分子有機 EL は、自発光であることの利点や、高速応答性、発光層の形成方法として印刷法が適用できる特徴などをいかして、ディスプレイや照明器具での使用が拡大すると予想されています。特に、最近では次世代携帯電話やポータブル DVD プレーヤーでの利用が期待され、さらに将来的にはテレビなどへの採用を通して市場は急速に成長するものと期待しています。

住友化学は、表示材料を重点分野の一つとして、液晶表示装置用部材の事業拡大を進めると共に、次代表示材料の開発にも注力しています。高分子有機 EL 材料については、1989年から開発をスタートし、コンピューターケミストリーを用いた製品設計や新規材料の合成などの領域で優れた成果を蓄積してまいりました。今回、この分野で有力な CDT 社およびダウ社の優れた技術と当社の技術を融合することで、新規材料開発を大きく加速し、革新的な材料を求める需要業界のニーズに的確かつ迅速に応えてまいります。

以上